

【事務事業調査】

事務事業名	政策マネジメントシステム推進費		予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-02-01-06-003-01-01-0
担当部課	総務企画部 総務課	担当 サブリーダー	行政経営担当 福田 光久	事業の分類 既存事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	基本的な活動は例年どおりですが、H20年度は特に、H19年度に試行した住民モニター制度を軌道に乗せます。システム(H19年度下半期導入予定)を用いて、業務に係るヒトの量、カネの量を定量化します。	H19年度執行施策の検証結果を、H21年度事務事業の抜本的な見直しへと反映させる仕組みが強化されます。 コスト計算による客観的な数字を作ることによって、人員配置、予算配分、アウトソーシングの基礎データとすることができます。
実績	住民モニター制度導入により、生活者の視点による評価が加わった。また、モニターへの説明の場を設けることにより、説明責任意識を啓発できました。 各調書を簡略化し、職員負荷を軽減しつつ、後期計画に向けた協議や施策調整を行うよう促しました。	住民モニターが評価するにあたり、「施策横断的な視点」が醸成されておらず、客観的な評価がまだできないため、事前評価への反映方法が明確にできませんでした。 職員が調書を作成するにあたり、内部調書的な調書と捉えている感があり、さらなる意識改革が必要という課題が残りました。 また、定量化についてのシステムについても、ABC分析等は現実的でないと判断し、導入には至りませんでした。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
定量化した経費(業務)の数 (単位:件)	464件	472件	正確には、予算科目数と実際の業務数がピッタリとは一致しません。指標を「経費」でとるか「業務」でとるかですが、現時点では正確な数を把握できる「経費」でとることとします。 H20年度一般会計における予算科目数 ・政策経費 213 ・経常経費 259 ・合計 472

事業費(計画)

細 節	金 額
1 委託料	1,800,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	1,800,000

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 委託料	1,800,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	1,800,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 委託料	945,000	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	945,000	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		1,800,000	
	補正予算額		0	
	流用額		-179,000	事務量の定量化システムを見送った分、予算を他科目に流用しました。 1.町制50周年記念式典費へ:式典に係る報償費不足のため。(170,000円) 2.定額給付金給付事務費(経常経費)へ:消耗品など不足のため。(9,000円)
	予算現額		1,621,000	
決 算	決算額		945,000	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	1,800,000	945,000	